

2019年5月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2019年1月11日

上場会社名 TONE株式会社 上場取引所 東
 コード番号 5967 URL <https://tonetool.co.jp/>
 代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 松村 昌造
 問合せ先責任者 (役職名) 管理部長 (氏名) 井上 昌良 TEL 06-6649-5967
 四半期報告書提出予定日 2019年1月11日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2019年5月期第2四半期の連結業績（2018年6月1日～2018年11月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年5月期第2四半期	2,787	6.8	433	△4.1	477	0.4	327	△5.0
2018年5月期第2四半期	2,609	△1.4	452	2.4	476	4.1	344	22.2

(注) 包括利益 2019年5月期第2四半期 309百万円 (△25.5%) 2018年5月期第2四半期 415百万円 (55.6%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年5月期第2四半期	158.69	—
2018年5月期第2四半期	167.41	—

(注) 2017年12月1日付で普通株式5株につき、1株の割合で株式併合を実施しております。前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定し、1株当たり四半期純利益を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2019年5月期第2四半期	7,694	5,993	77.9
2018年5月期	7,733	5,791	74.9

(参考) 自己資本 2019年5月期第2四半期 5,993百万円 2018年5月期 5,791百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年5月期	—	—	—	70.00	70.00
2019年5月期	—	—	—	—	—
2019年5月期（予想）	—	—	—	60.00	60.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

2018年5月期期末配当金の内訳 普通配当60円 記念配当10円（設立80周年記念配当）

3. 2019年5月期の連結業績予想（2018年6月1日～2019年5月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	6,390	4.4	1,020	△9.5	1,030	△10.7	720	△10.8	348.80

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社（社名）、除外 一社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2019年5月期2 Q	2,342,600株	2018年5月期	2,342,600株
② 期末自己株式数	2019年5月期2 Q	268,634株	2018年5月期	282,289株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2019年5月期2 Q	2,064,206株	2018年5月期2 Q	2,060,622株

（注）2017年12月1日付で普通株式5株につき1株の割合で株式併合を実施しております。前連結会計年度の期首に株式併合が行われたと仮定し、「期末発行済株式数」、「期末自己株式数」及び「期中平均株式数」を算定しております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. (3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第 2 四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第 2 四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(追加情報)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、堅調な企業収益や雇用環境の改善を背景に、個人消費に持ち直しの動きが見られるなど緩やかな回復基調で推移いたしました。

しかしながら、米国の保護主義政策及びそれに伴う貿易摩擦への懸念などによる世界経済の不確実性は継続しており、依然として先行き不透明な状況が続いております。

このような経済状況のもと、当社グループは「『ボルディング・ソリューション・カンパニー』として社会の発展に貢献し、地球上になくしてはならない企業をめざす。」ことを企業理念に掲げ、お客様が求める価値を的確に捉え、「スピード感と一体感のある製品開発体制」を基軸に保有技術を有効的に活用し、「締付」をキーワードとした幅広い製品群の開発・製造・販売を推進し、より多くのお客様に「ボルト締結」に最適な手段を提供してまいりました。

また、設立80周年を記念したセールを展開し、積極的に販売促進を図るとともに、デザインを一新した「次世代工具シリーズ」の拡販、主力製品「シャーレンチ」製品群及び充実のラインアップを誇る「ナットランナー」製品群の販売強化に加え、安全管理の要「トルク管理」製品群など、競争優位性の高い製品群の拡張に加え、お客様要望に応えた特殊品対応を行うことによる市場ニーズの把握、新規市場開拓を図るなど売上高の伸長に懸命な努力をいたしました。

さらに、「TONEブランド戦略」として、引き続きモータースポーツの応援やレーサーサポート、レース協賛などを積極的に展開することにより、より多くの人々に「TONEブランド」の魅力を伝えるとともに、現場の要望を研究・開発に活かした企画・新製品を展開するなど、新たなTONEの可能性を追求してまいりました。

その結果、作業工具類の売上高は、16億2千7百万円となりました。機器類の売上高は、動きが回復しつつある建築土木市場の影響もあり、11億6千万円となりました。

従いまして、当第2四半期連結累計期間の業績につきましては、売上高は27億8千7百万円（前年同期比6.8%増）となりました。また、利益面では営業利益は4億3千3百万円（前年同期比4.1%減）、経常利益は4億7千7百万円（前年同期比0.4%増）となり、親会社株主に帰属する四半期純利益は3億2千7百万円（前年同期比5.0%減）となりました。

各セグメント別の業績は、以下のとおりであります。

(西日本)

「ボルト締結分野」における競争優位性の高い製品群を基軸に、ユーザー向けデモや展示会PR、河内長野工場（大阪府河内長野市）見学会を継続して実施してまいりました。その結果、売上高は、10億9千3百万円（前年同期比2.5%増）、セグメント利益は1億8千4百万円（前年同期比6.9%減）となりました。

(東日本)

「TONEブランド戦略」を背景に、引き続き自動車関連での拡販活動を展開したことにより、トルク管理製品群の販売促進を図りました。機器類については建設関連市場の需要が高まり、売上拡大に影響しました。その結果、売上高は、11億7千2百万円（前年同期比9.8%増）、セグメント利益は1億6千9百万円（前年同期比6.6%減）となりました。

(海外)

アジア市場での売上回復傾向は鈍いものの、北米市場は回復しつつあります。欧州等の新規開拓地域でも引き続き売上を堅調に獲得してまいりました。その結果、売上高は、5億2千1百万円（前年同期比9.9%増）、セグメント利益は8千万円（前年同期比7.0%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

資産合計は76億9千4百万円となり前連結会計年度末に比べ3千9百万円減少しました。この主な要因は、商品及び製品の増加1億8千7百万円等がありましたが、受取手形及び売掛金の減少2億6千3百万円等によるものであります。

(負債)

負債合計は17億円となり前連結会計年度末に比べ2億4千1百万円減少しました。この主な要因は、未払費用の増加4千6百万円等がありましたが、賞与引当金の減少9千5百万円、支払手形及び買掛金の減少3千6百万円、短期借入金の減少6千万円等によるものであります。

(純資産)

純資産合計は59億9千3百万円となり前連結会計年度末に比べ2億2百万円増加しました。この主な要因は、剰余金の配当1億4千4百万円等がありましたが、親会社株主に帰属する四半期純利益3億2千7百万円の計上、自己株式処分差益の計上1千9百万円等によるものであります。

(キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、4億9千9百万円となり、前連結会計年度末に比べ1千5百万円の減少となりました。当第2四半期連結累計期間におけるキャッシュ・フローの状況のそれぞれの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動においては、税金等調整前四半期純利益4億7千7百万円があったものの、たな卸資産の増加額2億4千7百万円、法人税等の支払額1億5千5百万円等により、資金はプラス2億6千5百万円(前年同期はマイナス3千2百万円)となりました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動においては、有形及び無形固定資産の取得による支出3千2百万円等により、資金はマイナス3千1百万円(前年同期はマイナス1億1千3百万円)となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動においては、長期借入金の返済による支出9千4百万円、配当金の支払額1億4千3百万円等により、資金はマイナス2億4千5百万円(前年同期はプラス9千2百万円)となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2019年5月期の業績予想につきましては、2018年7月12日に公表いたしました予想から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2018年5月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2018年11月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	514,589	499,520
受取手形及び売掛金	1,796,478	1,533,465
商品及び製品	1,274,003	1,461,822
仕掛品	435,872	437,512
原材料及び貯蔵品	765,225	819,644
その他	36,948	28,074
貸倒引当金	△5,730	△4,978
流動資産合計	4,817,387	4,775,063
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	592,869	600,668
機械装置及び運搬具(純額)	128,486	129,257
工具、器具及び備品(純額)	22,489	20,416
土地	1,037,256	1,037,256
リース資産(純額)	12,982	9,083
建設仮勘定	26,114	21,609
有形固定資産合計	1,820,198	1,818,292
無形固定資産		
リース資産	4,266	3,077
その他	48,920	42,852
無形固定資産合計	53,186	45,930
投資その他の資産		
投資有価証券	773,050	751,725
その他	269,767	303,277
貸倒引当金	△0	△0
投資その他の資産合計	1,042,817	1,055,003
固定資産合計	2,916,202	2,919,225
資産合計	7,733,590	7,694,289

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2018年5月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2018年11月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	627,488	591,431
短期借入金	440,467	380,148
リース債務	15,402	11,831
未払法人税等	170,685	117,299
賞与引当金	101,452	5,788
未払金	142,208	154,790
未払費用	53,136	99,586
その他	39,137	10,066
流動負債合計	1,589,978	1,370,941
固定負債		
長期借入金	101,460	67,680
リース債務	2,585	755
繰延税金負債	115,945	155,423
退職給付に係る負債	109,279	89,503
資産除去債務	3,780	3,780
長期未払金	16,628	9,949
その他	2,700	2,700
固定負債合計	352,378	329,791
負債合計	1,942,356	1,700,733
純資産の部		
株主資本		
資本金	605,000	605,000
資本剰余金	163,380	182,998
利益剰余金	5,040,676	5,223,696
自己株式	△372,572	△354,610
株主資本合計	5,436,483	5,657,084
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	353,514	337,513
為替換算調整勘定	1,234	△1,042
その他の包括利益累計額合計	354,749	336,470
純資産合計	5,791,233	5,993,555
負債純資産合計	7,733,590	7,694,289

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2017年6月1日 至 2017年11月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2018年6月1日 至 2018年11月30日)
売上高	2,609,844	2,787,664
売上原価	1,477,051	1,581,988
売上総利益	1,132,792	1,205,676
販売費及び一般管理費	680,185	771,788
営業利益	452,607	433,887
営業外収益		
受取利息	282	770
受取配当金	13,015	14,125
為替差益	4,545	22,054
投資有価証券売却益	—	200
その他	7,632	7,988
営業外収益合計	25,476	45,139
営業外費用		
支払利息	1,448	1,015
その他	535	206
営業外費用合計	1,983	1,222
経常利益	476,100	477,804
税金等調整前四半期純利益	476,100	477,804
法人税、住民税及び事業税	97,788	105,483
法人税等調整額	33,342	44,751
法人税等合計	131,130	150,234
四半期純利益	344,970	327,570
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	344,970	327,570

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2017年6月1日 至 2017年11月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2018年6月1日 至 2018年11月30日)
四半期純利益	344,970	327,570
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	70,711	△16,001
為替換算調整勘定	△390	△2,277
その他の包括利益合計	70,320	△18,278
四半期包括利益	415,290	309,291
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	415,290	309,291
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2017年6月1日 至 2017年11月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2018年6月1日 至 2018年11月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	476,100	477,804
減価償却費	46,885	47,039
為替差損益(△は益)	5,330	△6,414
貸倒引当金の増減額(△は減少)	162	△752
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△17,659	△19,775
賞与引当金の増減額(△は減少)	△99,418	△95,663
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△29,500	—
受取利息及び受取配当金	△13,297	△14,896
支払利息	1,448	1,015
株式報酬費用	—	1,256
投資有価証券売却損益(△は益)	—	△200
有形及び無形固定資産除売却損益(△は益)	—	0
売上債権の増減額(△は増加)	74,825	262,918
たな卸資産の増減額(△は増加)	△201,022	△247,390
仕入債務の増減額(△は減少)	△133,326	△31,197
未払消費税等の増減額(△は減少)	△4,474	△22,180
未収消費税等の増減額(△は増加)	△4,562	△1,306
その他	57,547	57,086
小計	159,038	407,344
利息及び配当金の受取額	13,297	14,815
利息の支払額	△1,474	△979
法人税等の支払額	△202,987	△155,394
営業活動によるキャッシュ・フロー	△32,125	265,785
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形及び無形固定資産の取得による支出	△113,936	△32,572
投資有価証券の売却による収入	—	250
保険積立金の積立による支出	△1,049	△1,175
差入保証金の増減額(△は増加)	—	2,237
その他	1,278	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	△113,707	△31,261
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	300,269	—
長期借入金の返済による支出	△124,729	△94,099
配当金の支払額	△71,750	△143,757
リース債務の返済による支出	△5,400	△5,400
長期未払金の返済による支出	△4,609	△2,208
自己株式の純増減額(△は増加)	△901	△122
財務活動によるキャッシュ・フロー	92,878	△245,586
現金及び現金同等物に係る換算差額	△122	△4,006
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△53,077	△15,069
現金及び現金同等物の期首残高	381,836	514,589
現金及び現金同等物の四半期末残高	328,758	499,520

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 2018年2月16日)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

① 前第2四半期連結累計期間(自 2017年6月1日 至 2017年11月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結損 益計算書計上 額(注) 2
	西日本	東日本	海外	計		
売上高						
外部顧客への売上高	1,066,906	1,068,214	474,723	2,609,844	—	2,609,844
セグメント間の内部売 上高又は振替高	6,548	—	—	6,548	△6,548	—
計	1,073,454	1,068,214	474,723	2,616,392	△6,548	2,609,844
セグメント利益	198,506	181,546	75,388	455,441	△2,833	452,607

(注) 1 調整額は、セグメント間取引消去によるものであります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

② 当第2四半期連結累計期間(自 2018年6月1日 至 2018年11月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結損 益計算書計上 額(注) 2
	西日本	東日本	海外	計		
売上高						
外部顧客への売上高	1,093,745	1,172,372	521,546	2,787,664	—	2,787,664
セグメント間の内部売 上高又は振替高	—	2,659	—	2,659	△2,659	—
計	1,093,745	1,175,032	521,546	2,790,324	△2,659	2,787,664
セグメント利益	184,835	169,545	80,630	435,011	△1,123	433,887

(注) 1 調整額は、セグメント間取引消去によるものであります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。